

分野 (2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究

研究課題名 : ②患者教育実践指導のための指導者育成システムの開発及び基盤整備

申請課題名 : アレルギー専門患者指導のための指導者育成システムの開発
および基盤整備に関する研究

調査研究代表者氏名 : 赤澤 晃

1. 評価軸別の評価

大変優れている(5点) 優れている(4点) 普通(3点) やや劣っている(2点) 劣っている(1点)

	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	3人	2人	1人	0人	0人	4.3
(2) 研究成果目標(目的)の達成度	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
(3) 研究計画の妥当性	2人	3人	1人	0人	0人	4.2
(4) 内容の独自性	2人	3人	1人	0人	0人	4.2
(5) 社会・経済に対する貢献度	3人	2人	1人	0人	0人	4.3
個別評価平均						4.2

2. 総合評価

(1) 評価基準に沿った評価	4人	1人	1人	0人	0人	4.5
(2) 記述評価						
<ul style="list-style-type: none">・完成度の高い研究結果である。・あまりレベルを上げると指導者数を増加させるのが難しくなるのではないかと。・このような教材・資料があることを関係者に周知させる方法を考えてもらいたい。・全体の青写真、あるいはゴールをもっと明らかにして進める必要がある。例えば指導者の候補者の選定法や配分についての全体像について具体的に見えると良い。・アレルギーの内容に成人も含めると意義がさらに高まる。・指導者育成システムの開発である。・このシステムの評価について、専門医などスタッフからの評価は行われているが、その重要な目標である患者の主観的、客観的(データにもとづく改善評価など)評価を今後期待する。・PAE育成については、実践のレベルに達したように思われる。早急に普及することが望まれる。・目標、計画に沿って、明確な成果をあげていると評価できる。・本研究が環境保健調査研究の枠を超えて、標準化され、事業化されるべきものではないかという考えを強く持った。						